宮私幼PTAだより

第92号
発行者
宮私幼ＰＴＡ連合会
（会長　佐々木　幸士）
編集者
広報委員会
事務局
仙台市青葉区国分町三丁目6-12
佐正第二ビル６Ｆ
電話（022）263-7040番

深い愛情をより多くの子供達へ　今こそ、本連合会の力を一つに

宮城県私立幼稚園ＰＴＡ連合会
会長　佐々木　幸士

本年六月の総会にて、本連合会会長職を引き続き、私、宮城県議会議員（太白区選出）佐々木幸士が務めさせていただくことになりました。これまでも至らぬ点があったものと存じますが、各地域各園の特性と自主性が十分に引き出されるよう、幼児教育の益々の振興に向けた取り組みと、保護者負担の軽減のための幼児教育無償化の早期実現のために、決意新たに皆さまと共に活動をして参りますので、ご指導ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申しあげます。

さて、政府は当初二〇二〇年四月から実施予定であった幼児教育無償化（三歳から五歳児を対象に幼稚園・認定こども園の費用を親の所得を問わず上限月額２万５千７百円）の本格実施の時期を半年前倒しし、二〇一九年（来年）十月から実施する方針を固めました。

また、これまで保育所との間に開きがあった預りの標準時間についても、解消にむけ、預かり保育も対象に含む方針が示されました。今後、明らかとなる詳細につきましては、改めて会報等にてご報告させていただきたいと存じます。

今後様々な制度の改定や施策の推進により、幼児教育の現場は「変革のとき」を迎えます。現場のより良い環境の変化は、子供達の教育環境の更なる改善に直結するものとして、皆さまと共になり、本連合会の力を一つに、この局面に臨んで参りたいと存じますので、皆さまのご理解とご協力を何卒よろしくお願いいたします。

結びとなりますが、本年六月の大阪北部地震、七月の西日本豪雨と自然災害が多発しております。被災された皆さまに心からのお悔やみとお見舞いを申しあげますとともに、東日本大震災から七年半が経過しておりますが、自然災害が起こる前に、「決めておくべきこと」「やっておくべきこと」等々、改めてご家族皆さまで再確認していただくようお願い申しあげ、ご挨拶とさせていただきます。

宮私幼教育振興大会・宮私幼研修大会を終えて

緑ケ丘第二幼稚園（Ｐ）
研修副部長　齋藤　雅子

平成三十年度宮私幼教育振興大会・第四十七回宮私幼ＰＴＡ研修大会が、六月十五日（金）東京エレクトロンホール宮城にて開催されました。

第一部振興大会は、昨年に引き続き「次代（あす）を担う子どものために」のスローガンのもと、大会宣言「子どもたちの教育の原点が、家庭にあることを再認識し、家族が協力し合って絆を深め、家庭が子どもにとって最も安心でき、共に学び合える場になるよう努めます。私立幼稚園・認定こども園への公的助成、特に保護者の経済負担を軽減するための運営費補助金の増額及び教職員の処遇改善、並びに幼児教育無償化の早期実現を求めます。東日本大震災により被災した方々の一日も早い復興・再生を願いつつ、地域の人々との絆を深め、安心して暮らすことのできる地域社会づくりの支援に努めます。」をもって幕を閉じました。

第二部研修大会は「発達に伴う個育てコーチング」と題して一般社団法人個育てコーチング協会代表理事・西城あや氏の以下のような講演でした。

コーチングではゴールの設定がとても大事で、子育てに関してのゴールの一つとして、自立と自律があります。

この自立と自律を支えるのが自己肯定感、つまり、自分の存在は価値があるという感覚です。

そして、この自己肯定感はチャレンジする力、失敗しても立ち直る力、自他の違いを受容する力へとつながっていきます。

この自己肯定感を高めるのにコーチングが有用というわけです。

ではコーチングとは何かというとコミュニケーションを通じて相手の中に眠っている可能性や答えを引き出す方法です。

「相手の話をしっかり（心で）聴く。」「相手の話を認める。」「相手の話に質問をする。」このコーチングの基本三本柱に則って子どもに声がけをすることで自ら気付き、考えて行動できるようになると自己肯定感が高くなっていきます。

そして、「相手の話をしっかり聴く」ことを傾聴といい、その手法として、「アイコンタクト」「うなずき」「えがお」「オウム返し（くり返し）」で傾聴あいうえおと覚えて子どもとの会話に取り入れてみてください。子供は話を聞いてもらえたと満足するはずです。

また、大人から見ると困る子供の行動は思わず叱って、やめさせたいものですが、様々な感覚の獲得であり、その子供にとっては必要で意味のある行動です。

それを知っているだけで叱る回数が減るのではないでしょうか。

子育ての時間は長いようであっという間です。信じる・認める・任せる「信認任（しんにんにん）」で子育てを楽しんでください。

以上のような内容に、ご自身の子育て経験や発達支援コーチの知識も交えた明るく軽妙なお話に満場の拍手をもって閉会となりました。

会員のひろば

大きな一年間

矢本はなぶさ幼稚園(P)
阿部裕香

長女が矢本はなぶさ幼稚園に入園したのが八年前、そして今年度長男が卒園となり、同時に私も幼稚園を卒園します。どの一年間をとっても、その時々にあった出来事がパッと思い浮かぶくらいに大変思い出深い幼稚園生活でした。そして今年度は父母の会会長を務めることになり、今までとは全く違った視点から行事などに関わるようになりました。

不安と緊張で始まった幼稚園の総会、石巻地区会での会長挨拶…と目まぐるしく過ぎていった一学期はあっという間でした。

今までに経験したことのない大役、そして自分がすべき事で四苦八苦している時、いつもその思いを共有し、支えてくれる役員の仲間たち、応援してくれる家族や先生方、保護者の方々もおります。皆様に助けられながら楽しく活動ができ、そういう人たちが周りにいることはとても幸せなことだと思います。そして私にとって大きな財産です。

この出会いに感謝し、今回お引き受けしなければできなかった経験は貴重な経験ととらえ、卒園までの日々を一歩一歩大切に過ごしていきたいと思います。

人生の半分を過ごす

葦の芽幼稚園(P)
藤野達也

私が親になってから、ふと考えることがあります。それは、自分自身がこどもの頃、まったく意識をすることは無かったことでした。

幼稚園に年少から入園した場合、三年の時を過ごすことになります。三十年ちょっと過ごした私には、長いようで短い時間に感じます。

しかし、小学校に入学するまでのこども達にとっては、人生の約半分を過ごすのと同じ割合を占めていると考えられます。

とある日の朝、娘が目をさまし、隣に寝ていた私を見て一瞬にこっと笑った後、またすぐに眠りにつきました。私が出勤後、娘が妻に「今日パパに会ったんだよ！」と嬉しそうに話したそうです。最近は、娘が起きている間に会えない日が続くこともありました。その出来事があってからは、こどもに寂しい思いをさせてしまった場合、親として何ができるかということを深く考えるようになりました。

幼稚園で過ごす、又は保育園で過ごすこの時間は、心の成長に大きな影響を与える大切な時間だと思います。寂しい、悲しい思いをさせてしまった場合は、一緒に楽しく遊ぶ等、ぜひ甘えさせてあげて下さい。

おやじの会

ひかり幼稚園(P)
柴田憲一

長男の入園前より私の友人からひかり幼稚園には『おやじの会』というお父さんの会があるから、ぜひ入った方が良いよと声をかけられていました。知り合いが少ないなかうまくやっていけるか不安でしたが、皆さん温かく迎え入れてくれました。

おやじの会というと飲み会ばかりしているのでは？と思われがちですが、そうではなくて（もちろん懇親を深めるため少しはありますが…）園行事の裏方として運動会でのお手伝い、イベントの企画、節分には『鬼』としての出演等と盛りだくさんです。特に夏に行われるイベントでは、市内の蔵王の麓にある施設で魚のつかみ取りや流しソーメンにＢＢＱと日頃経験できない体験ができるとあって非常に好評です。メンバーで一からの企画とあって苦労もありますが、子供たちの汗だくとなって遊ぶ姿、笑顔を見るとその苦労も吹き飛びます。

また幼稚園での役員やおやじの会での活動を通し先生方の考えや想いを少し近くで感じる事ができ非常に良い経験ができこれからもこの活動を続けていきたいと思います。

平成三十年度役員名簿

会長	佐々木幸士	富沢P
副会長	渡辺勝幸(広)	六郷P
〃	深谷晃祐(体)	多賀城高崎P
〃	笠原由佳(体)	もみじが丘P
〃 (事務局長)	横澤行夫(研)	お人形社第二T
監事	成田祐香(体)	あらまきP
〃	村上秀典(体)	多賀城東T
〃	◎田村さや香(研)	尚絅学院大附属P
事務局員	大風未央	宮私幼事務局
常任委員	◎岩山伸次(体)	東盛P
〃	菅原彰(体)	すがわらT
〃	◎佐々木拓真(広)	エコールノワールT
〃	○小山佳予子(体)	もみじが丘T
〃	小野寺純一(広)	葦の芽T
〃	小島考尋(広)	あさひT
〃	佐々木恵里(研)	千手寺T
〃	會津隆司(広)	石巻カトリックT
〃	渡邊俊道(体)	和光T
〃	我妻京子(研)	尚絅学院大附属T
〃	風間文静(広)	ひかりT
委員	伊沢登紀子(研)	太陽P
〃	伊藤みどり(研)	太陽P
〃	○齋藤雅子(研)	緑ケ丘第二P
〃	高橋明菜(研)	緑ケ丘第二P
〃	三浦慶子(広)	ふくむろT
〃	東郁恵(体)	あらまきP
〃	藤野達也(広)	葦の芽P
〃	石川美香(広)	あさひP
〃	渡邉秀紀(研)	千手寺P
〃	阿部裕香(広)	矢本はなぶさP
〃	○柴田憲一(広)	ひかりP
顧問	中野正志	お人形社第二P
〃	中沢幸男	尚絅学院女子大附P
〃	渥美巖	矢本はなぶさP
〃	中島源陽	いわでやまP

◎各部会部長　○各部会副部長
(研)＝研修部　(体)＝体育部
(広)＝広報部

平成三十年度　今後の会活動予定

9月14日　バレーボール代表者会
9月20日　第二回役員会
10月23日　第四十三回　親善バレーボール大会（グランディ21）
2月　東北地区私幼ＰＴＡ　連絡会議
3月1日　ＰＴＡだより　第93号発行
時期未定　地区研修会（塩釜地区・名取岩沼地区）
時期未定　知事陳情

あとがき

「宮私幼ＰＴＡだより」第92号をお届けいたします。今号からカラー印刷となりました。多忙な中、ご寄稿いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

関西での大きな地震、西日本の大水害、記録的な猛暑、さらには台風と、この夏は大変な夏となってしまいました。被災された地域が一日も早く復興し、子供たちに笑顔が戻ることを願って、あとがきとさせたいただきます。

（広報部長）